

例題 10

助教授 濱本 正太郎
shotaro@rokkodai.kobe-u.ac.jp

6月3日までに e-mail で届いた答案は添削してお返しします。

以下は、2001年4月30日および5月1日付朝日新聞の記事である。

【シドニー29日＝坂口智】今月17日、台湾海峡を通過中のオーストラリアの軍艦に対し、中国海軍の艦船が領海からの退去を求める事件があったことが明らかになった。

航行していたのは、韓国から香港に向かって豪海軍のミサイル・フリゲート艦、フリゲート艦、補給艦の3隻。中国海軍の艦船が接近、「無許可で中国領海に入っている」として退去を求めた。豪艦隊は方向転換を拒否し、航行を続けたという。中国は北京の豪大使館に抗議した。

国際法上、軍事活動や調査、偵察などを行わない「無害通航」である限り、軍艦が外国の領海を許可なしに通過することが認められている。ハワード豪首相は29日、「豪海軍の艦船は、国際法に従って適切に行動していた」と述べた。また「こういった状況に関する国際法について中国と他の諸国の解釈は以前から異なっている」として、「過剰反応すべきでない」との考えを表明した。

【北京30日＝古谷浩一】中国軍艦船が台湾海峡を航行中のオーストラリアの軍艦に「領海からの退去」を求めた事件で、中国外務省は30日、「外国の軍用船が中国の領海に入る際には中国政府の許可が必要だ」とのコメントを出した。国際法の一般的な理解とは別に、国内法を適用して領海内の軍艦の航行を制限する中国の立場を明らかにした。

外国の領海での軍艦の航行については、偵察活動などを行わない「無害通航」である限り認められるとの国際法の解釈が国際的には一般的。これに対し中国は領海は領土の一部であり、国内法が適用されると主張した。

問 中国の立場を国際法に基づいて正当化せよ。

注 ・オーストラリア・中国とも、国連海洋法条約の当事国である。
・中国の立場を単に正当化するだけでなく、予想される反論に回答しておくことも必要である。